

オープン10周年！山村都市交流の森

今年でオープン10周年を迎えた山村都市交流の森。これまでの歩みを振り返りながら、施設を紹介します。



心のふるさととして

花脊峠以北の左京区北部山間地域は、久多・広河原・花脊・別所・百井の5集落にまたがり、地域の95%が森林です。古くから建築用材や薪炭材の産地として林業が盛んであり、林業を通じて森林が守られてきました。今日でもなお、豊かな自然や多くの文化・伝統行事が残っています。

しかし、近年は過疎化が進み、遊休農地の増加など、農林業によって守り育てられてきた自然や活力ある地域の維持が難しくなってきました。

そのような中で、あらためて地域を見直し、豊かな自然環境そして森林とともに生きる山村文化を継承・発展し、市民の心のふるさととして地域振興を図っていく「ふるさと森都市構想」が平成元年に策定されました。山村都市交流の森は、この中核施設として整備され、今年でオープン10周年を迎えました。



上桂川の溪流

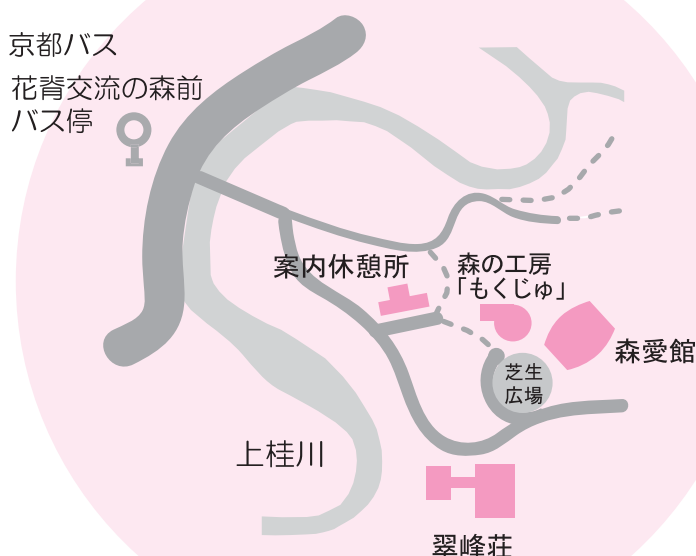


森の工房
「もくじゅ」



案内休憩所

京都バス
花脊交流の森前
バス停



交流の森センターエリア